

京都大学 糖尿病・栄養内科から  
臨床研究へのご協力へのお願い  
-診療上得られたデータの使用について-

京都大学 医学研究科 糖尿病・栄養内科学 教授 稲垣暢也

京都大学医学部附属病院では、新しい医療の開発と実践を通して社会に貢献することを目指し、皆様にご協力をお願いし、臨床研究をおこなっております。

糖尿病・栄養の分野でも、治療法や検査法は徐々に進歩しており、現在、最善と考えられる治療・検査を実施しています。しかし、まだ十分にわかっていないこともたくさんあります。

糖尿病・栄養内科では、従来の診療の範囲でおこなう検査について、1997年以降に当科に入院されたことのある多数の患者さんの結果をあつめて統計をとり検討することで、医学の進歩に役立てようとしています。この研究は個々の患者さんに必ずしも直接の利益をもたらすわけはありませんが、将来の患者さんの診療に役立つ可能性はあります。

研究の内容は、以下の3つで、当科に入院したことのある患者さんに診療の範囲内でおこなった過去の検査を用いて調べます。

1. インスリン（膵臓から出る血糖をさげるホルモン）を出すちからがインスリン治療となった人と飲み薬の治療となった人の間でどのようにちがうかを調べる研究
2. 飲み薬の一種であるスルホニル尿素薬がインスリンを出すちからを示す検査結果にどのように影響するかを調べる研究
3. インスリンを出すちからを調べる2種類の検査（グルカゴンという薬を注射して調べる検査と食事をとってから調べる検査）がどのようにちがうか、各々の検査がひとによってどのようにちがうかについての研究

それぞれの研究において、個人情報保護されるよう細心の注意を払います。研究の結果は、学会や学術雑誌に発表する場合も、多数の患者さんの結果を総合したかたちで発表しますので、氏名や個人を同定できるような情報が公表されることはありません。

当科に入院したことのある患者さんで、過去の検査結果の研究目的での使用をのぞまれない方は、外来主治医にお伝え頂くか、下記までご連絡下さい。お申し出のあった場合には、検査結果を研究目的で使用いたしません。また検査結果の使用をのぞまれないことを表明されても、今後の診療方針には影響せず、不利益をこうむることはありません。

<問い合わせなどの連絡先>

京都大学 医学研究科 糖尿病・栄養内科学

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

電話：075-751-3560

担当責任者：藤本新平